

ウェルウォーク通信

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
今回は、『TR-TIPSの活用方法』についてご紹介します。

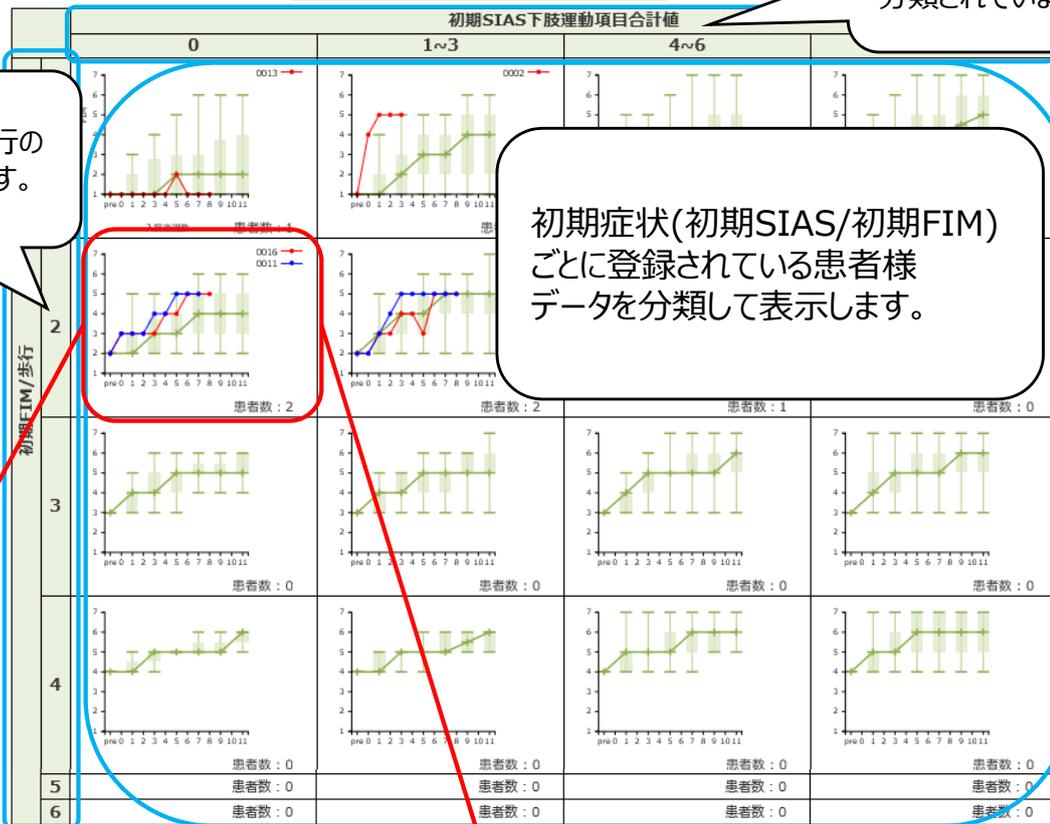
TR-TIPSでは日報で入力して頂いたデータをもとに、歩行練習の過程と結果を見やすくグラフ化できます。
その中の1機能である、**歩行自立度の推移をグラフ化し、他の類似症例と比較できる機能**を紹介します。

1. 患者様毎の歩行自立度の推移

1. 病院サマリー

1-1 FIM歩行推移

選択患者数: 9 (内1件は分類不可で非表示)

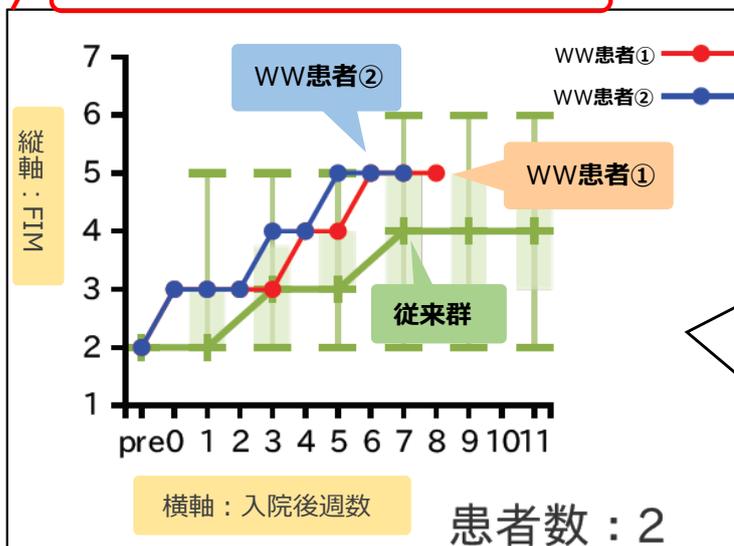


横軸は初期SIAS
下肢運動項目合計値で
分類されています。

縦軸は初期FIM歩行の
値で分類されています。

初期症状(初期SIAS/初期FIM)
ごとに登録されている患者様
データを分類して表示します。

例) FIM:2, SIAS:0 のグラフ



従来群(七栗記念病院の過去症例)^{※1}や、
類似の複数症例と簡単に比較できるため、
改善推移の違いにいち早く気付き、
改善につなげることができます。

左記グラフの場合

<気付き1>

従来群と比較し、歩行自立度の回復が早いことを確認

<気付き2>

症例①②間で大きな差はなく、同様の回復傾向を確認

※1 ■参考文献

http://www.fujita-hu.ac.jp/~rehabmed/nanakuri/reha_overview/gait_ability.html

回復期脳卒中片麻痺患者における歩行能力の経過

- 入院時の歩行能力及び下肢運動麻痺の重症度別による検討 -
(谷野ら JJCRS 2014)を一部改変

2.グラフ化に必要な入力項目

評価実施日	2019/07/02	2019/07/09 0週 6日	2019/07/16 1週 13日	2019/07/23 2週 20日	2019/07/30 3週 27日	2019/08/06 4週 34日
	1施行目 + <input checked="" type="checkbox"/>					
練習前	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
基本情報	身長[cm]					
	体重[kg]					
歩行能力	FIM歩行	3	4	4	5	5
	最大連続歩行距離 [m]					
Br.stage	下肢					
	Hip-Flex	2	2	2	2	2
	Knee-Ext	2	2	2	2	2
	Foot-Pat	0	0	0	0	0
SIAS	Touch L/E	2				
	Position L/E	2				
	Abdominal	1				
	Verticality	2				

■経過入力
初回練習日以降、1週間毎にFIMを入力して頂くことで、歩行自立度の推移及び、従来群との比較が行えます。

日報への入力はいつでも入力することが可能ですので、あとからまとめて入力することもグラフに反映されます。

■初期入力
初回練習日の欄に**初期SIAS3項目** (Hip-Flex, Knee-Ext, Foot-Pat) と **初期FIM歩行** を入力することで、患者毎の分類分けが行われます。

【ご参考】詳細な操作手順は、下記TR-TIPSのページを参照ください

<https://www.toyota.co.jp/robotics/service/tips/>

※リーダPT用のID、PWを忘れてしまった場合は、下記連絡先までご連絡ください

ログインするとこちらのHOME画面が開きます。『オンラインマニュアル』をクリックすることで、より詳細な使用方法を確認することができます。※WW-2000では、マニュアル『TR-TIPS編』となっております。



今回はTR-TIPSの一部機能である『患者様毎の歩行自立度の推移』についてご紹介させて頂きました。これを機に少しでも活用して頂ければ幸いです。

操作方法に関して コールセンター：TEL. 0120-05-6598

(ただし、臨床面に関する問い合わせは WW 臨床・運用相談窓口：clinical-ww@mail.toyota.co.jp まで)